石巻専修大学
●「石巻専修大学」ホームページ●
https://www.senshu-u.ac.jp/ishinomaki/

石巻専修大学
広報係
〒986-8580
宮城県石巻市
南境新水戸1番地
☎0225-22-7717（直）

最新の情報は大学HPで。

震災遺構・門脇小を見学

被災の記憶伝える意義学ぶ

門脇小学校の遺構の前で、語り部の鈴木さんから説明を聞く遠藤研究室の３人

人間学部特別授業

人間学部人間文化学科の日本文学・文化研究室（担当：遠藤郁子教授）に所属する3年次生が6月10日、研究室の学びの一環で石巻市震災遺構の門脇小学校を訪れた。

参加したのは桜井里子さん（宮城県石巻商業高）、後藤めぐみさん（宮城県桜坂高）、鈴木翠さん（宮城県気仙沼高）の3人。

門脇小学校は東日本大震災発生時、津波だけでなく、車などの漂着物による火災被害にも見舞われた。3人は震災当時の校長で、現在は語り部として活動する鈴木洋子さんの説明を聞きながら、被害の爪痕が残る教室や校長室を真剣な表情で見学した。展示館では、当時の児童や教員の体験を伝える映像を視聴して理解を深めた。

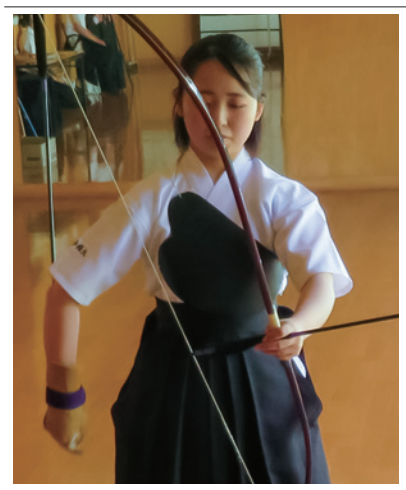
講演では、『矩形の洞』掲載の短歌から当時の状況や心情を読み解いた

その後、鈴木さんが「東日本大震災～その時学校は～」と題して講演。昨年上梓した短歌集『矩形の洞』の内容を紹介しながら、当時の様子や門脇小学校を残すために関係者が取り組んできたことなどを語った。

今回の特別授業を通じて学生たちは、震災の記憶を伝えていくことの大切さを学ぶとともに、短歌に込められた思いの強さに触れ、感銘を受けたようだ。

桜井さんは、「伺った話はとても深く、言葉の一つ一つに重みを感じた。鈴木さんの短歌は震災当時の状況や心情を細かく表現していて、その場にいるかのような感覚を覚えた」と感想を述べた。

弓道部・浅野さん――インカレ女子個人出場権獲得



集中して構えに入る浅野さん

第70回全日本学生弓道選手権大会（2022インカレ）の個人戦予選が7月2、3日、本学弓道場でオンライン形式で開催された。

女子の部に参加した浅野仁那さん（人間3・宮城県石巻西高）は1次、2次予選を見事通過。8月に東京で開かれるインカレ個人戦決勝への出場権を獲得した。

浅野さんは「一昨年はコロナの影響で参加できず、昨年は2次予選敗退だったので、予選を通過できてうれしい。全国大会でも力を発揮できるよう、残された時間も練習に励みたい」と話している。

本学からは、女子個人戦のほか、男子団体戦、女子団体戦にも参加する。

学内に期日前投票所を設置

参院選　学生２人が立会人務める

投票を見守る戸澤さん（左）と佐藤さん

7月4日、本学学生食堂に第26回参議院議員選挙の期日前投票所が設置され、学生や教職員、地元の方々が投票を行った。

人間学部4年次の戸澤愛織さん（青森県八戸学院光星高）と佐藤佳乃さん（山形県酒田南高）が投票立会人を務め、公正な選挙運営に協力した。

人間学部人間文化学科の輪田直子教授から声をかけられ、「貴重な体験で、面白そうと思い参加を決めた」という2人。当日は、選挙人名簿の複雑さや選挙の仕組みの難しさに驚きつつも重責を果たした。佐藤さんは、「今回の参加をきっかけに、各政党について自分なりに調べてみた。しっかりと投票しようと思う」と話していた。

小学生向け体験講座開催

ポプラ社と産学連携

多くの子どもたちが参加し、楽しみながら本づくりに取り組んだ

石巻専修大学とポプラ社（東京都千代田区）が連携し、石巻市内の小学4～6年生を対象とした「いしのまき子ども未来スクール」を今年度、2回開講する。同スクールは大学教授や作家、編集者が講師となり、子どもたちの夢や好奇心を育む体験型講座。第1弾となる「ポプラ社による編集者の仕事と本作りの秘密講座」が6月26日、本学図書館で開かれ、小学生26人が参加した。

児童書を中心に出版するポプラ社の編集者、加藤裕樹氏が講師を務めた。自身が担当する人気シリーズ『かいけつゾロリ』や『グレッグのダメ日記』の話を織り交ぜながら、本作りについて分かりやすく説明した。作家や編集者の仕事を体験する企画もあり、普段から本を読む子も読まない子も楽しめる講座となった。

石巻専修大学に親しんでもらうため、参加した子どもたちや保護者向けのガイダンスやキャンパス見学ツアーも実施。開校式では本学大学開放センター長の梅山光広教授があいさつしたほか、黒澤瑞希さん（人間2・岩手県不来方高）が司会を務めるなど運営に協力した。

経営・杉田教授　学会賞を受賞

経営学部の杉田博教授の著書『フォレットの解釈学的経営思想』（文眞堂）が、2021年度経営学史学会賞（著書部門）を受賞した＝写真。同賞は、経営学説、経営学史、比較経営学の領域において特に優秀と認められる学術研究書に贈られる。

受賞作は、20世紀初頭に活躍したメアリー・フォレットの思想を、過去400年における科学と哲学の諸相から考察。フォレットの解釈学的経営思想は「科学を志向する現代経営学が切り捨ててしまう価値倫理的な側面を補う」ものであると、その現代的意義や展望を示した。

杉田教授は「経営はサイエンスでもあり、アートでもある。経営学を学ぶ学生たちは、両方へのまなざしを大切にしてほしい」と語った。

育友会　定期総会を開催

支部懇談会スタート

石巻専修大学育友会（三浦浩会長）の定期総会が7月2日、本学キャンパスで開催された。2021年度事業報告、22年度事業計画などが承認された。

あわせて、今年度最初の支部懇談会が行われた。会員25組39人が参加し、本学からは尾池守学長らが出席。教職員から大学の現況報告、学業や課外活動、就職活動に関する説明があったほか、個別面談も行われた。

終了後には、日髙義博総長による講演会が実施された（専修大学校友会石巻専修大学学内支部主催）。「社会の中にあって社会に立つことの意義」と題し、東日本大震災において本学が果たした役割などに触れながら、〝専修人〟としての生き方を語った。

8月以降の支部懇談会の日程は別表の通り。会場及び日程等に変更が生じた場合は、HP等でお知らせします。

育友会HP

【支部懇談会 8月以降の日程】

開催日	開催地	会場
8月27日(土)	宮城（仙台）	TKPガーデンシティ仙台
8月28日(日)	秋田	ANAクラウンプラザホテル秋田
9月 3日(土)	山形	山形国際ホテル
9月10日(土)	福島	ホテル福島グリーンパレス
9月10日(土)	東京	専修大学神田校舎７号館